

東北で初めて「建設キャリアアップシステム運用現場見学会」が開催されました！

- 建設キャリアアップシステムについては、全国各地で現場運用が始まっており、登録現場において元請事業者がカードリーダーを設置し、技能者の方々が日々建設キャリアアップカードをタッチして、就業履歴を蓄積されています。
- 本年11月8日（金）、（一社）日本建設業連合会東北支部と国土交通省東北地方整備局主催により、建設キャリアアップシステム運用現場見学会が開催されましたので、その様子を御紹介いたします。
発注者の三菱地所（株）、パナソニックホームズ（株）及び関電不動産開発（株）、元請事業者の大成建設（株）と関係専門工事業者の皆様の御協力の下で行われました。
場所は、宮城県仙台市泉区にある泉パークタウン。新たに721区画の戸建宅地を48万㎡の広大な丘陵地に造成する工事で、機械土工の重機がたくさん導入されていました。
- 現場事務所の会議室において、大成建設（株）の現場管理者の方が、実際に建設キャリアアップシステムにログインし、現場の基本情報、施工体制登録事業者一覧、施工体制登録技能者一覧、事業者データ、技能者データ、就業履歴月別カレンダー等の閲覧画面をスクリーンに投影して御説明してくださいました。
必要な技能者・事業者情報や施工体制・作業員名簿の登録をしておけば、具体的な画面を閲覧できて簡単に内容を確認できるのだと実感できました。



- その後、日頃朝礼が行われる場所において、就業履歴登録アプリ「建レコ」をインストールしたiPadにつないだカードリーダーに、技能者の方おふたりが御自分の建設キャリアアップカードをタッチされる実演が行われました。

そして、おふたりへのインタビューがあり、感想や期待の声をいただきました。



経験と技能を積んでゴールドカードを目指します。

カードをタッチするだけで就業履歴を記録できるので、長く働いた人の処遇改善につながればいいですね。

